

大学番号：私354

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

届出

大阪国際大学 グローバルビジネス学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪国際学園  
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務局長 アソ ウ テツ オ 麻 生 哲 男

電話番号 06-6902-0791

(夜間) 06-6902-0791

F A X 06-6902-8894

e-mail t-asou@oiu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1 調査対象大学等の概要等	
(1) 設置者	1
(2) 大学名	1
(3) 大学の位置	1
(4) 管理運営組織	1
(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等	
(5) - ①調査対象学部等の名称、定員	2
(5) - ②調査対象学部等の入学者の状況	2
(5) - ③調査対象学部等の在学者の状況	3
(5) - ④調査対象学部等の退学者等の状況	4
2 授業科目の概要	
<グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科>	
(1) 授業科目表	5
(2) 授業科目数	9
(3) 未開講科目	9
(4) 廃止科目	9
(5) 授業科目を未開講または廃止としたことに係る 「大学の所見」及び「学生への周知方法」	9
(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	9
3 施設・設備の整備状況、経費	11
4 既設大学等の状況	13
5 教員組織の状況	
<グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科>	
(1) 担当教員表	15
(2) 専任教員数	26
(3) 専任教員辞任等の理由	26
(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	26
6 留意事項に対する履行状況等	27
7 その他全般的事項	
<グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科>	
(1) 設置計画変更事項等	29
(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）	30
(3) 自己点検・評価等に関する事項	32
(4) 情報公表に関する事項	33
別紙① 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部 FD委員会規程	35
別紙② 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見	37

# 1 調査対象大学等の概要等

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大阪国際学園

## (2) 大学名

大阪国際大学

## (3) 大学の位置

〒573-0192  
大阪府枚方市杉3丁目50番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オクダ ゴロウ) 奥田 吾朗 (平成7年7月)		
学長	(キタガワ トシミツ) 北川 俊光 (平成24年4月)	(ミヤモト イクオ) 宮本 郁夫 (平成26年4月)	健康上の理由のため。 平成26年4月1日(26)
学部長	(オクバヤシ コウジ) 奥林 康司 (平成26年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は、平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科  学士(経営学)	4年	300人	— 年次人	1,200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	300 (—) [—]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	0.34 倍	
志願者数	175 (—) [22]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	168 (—) [19]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	145 (—) [18]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	104 (—) [16]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.34									

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ 16 ] 104	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2 年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3 年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4 年次	/		/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ 16 ] 104	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	104人	0人	平成26年度	人	人		0.0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合計	104人	0人					%

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
  - 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】÷【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要



## 2 授業科目の概要

<グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
共通	グローバル時代の社会・人間の理解	人間学	1前・後	2								兼1		
		人間の生と死	3前・後	2									兼1	
		心理学	1後・2前	2									兼1	
		文化人類学	2前・後	2									兼1	
		ヒトとコトバの世界	2前・後	2			1							
		社会学	1前・後	2			1							
		宗教学	2前・後	2			1							
		くらしの中の憲法	1後	2				1						
		人権論	2前・後	2										兼1
		現代社会と女性	2前	2				1						
		数学の基礎	1前	2			1	+						職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)
		統計学入門	1後	2			1							
		人間と環境	2前・後	2										兼1
		生活の中の化学	2前・後	2										兼1
	地球の科学	3前・後	2			1	+						職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)	
	健康とスポーツ	1前・後	2			1							兼1	
	健康科学	2前・後	2			1							兼2	
	ICTの活用	コンピュータ基礎演習	1前	2			1	+					兼5	職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)
		コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	1後	1				1					兼5	
コンピュータの活用Ⅱ (Excelによる統計処理)		2前・後	1			1	1							
コンピュータの活用Ⅲ (マルチメディア)		2前・後	1			1						兼1		
コンピュータの活用Ⅳ (データベース)		2前・後	1			2	+						職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)	
情報の科学		1後	2			1	2	+					職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)	
教育科目	英語	英語Ⅰ	1前	1			1						兼2	
		英語Ⅱ	1後	1			1						兼2	
		英語Ⅲ	2前		1								兼6	
		英語Ⅳ	2後		1								兼6	
		オーラルイングリッシュⅠ	1前	1				2					兼4	
		オーラルイングリッシュⅡ	1後	1				2					兼4	
		オーラルイングリッシュⅢ	2前		1			2					兼3	
		オーラルイングリッシュⅣ	2後		1			2					兼3	
		オーラルイングリッシュⅤ	3前		1			1					兼2	
		オーラルイングリッシュⅥ	3後		1			1					兼2	
	外国語によるコミュニケーションの理解	リスニングⅠ	2前		1			1					兼3	
		リスニングⅡ	2後		1			1					兼3	
		ボキャブラリービルディングⅠ	1前		1			1					兼3	
		ボキャブラリービルディングⅡ	1後		1			1					兼3	
		エッセンシャルグラマーⅠ	1前		1			1					兼3	
		エッセンシャルグラマーⅡ	1後		1			1					兼3	
		ライティングⅠ	2前		1			1					兼2	
		ライティングⅡ	2後		1			1					兼2	
		旅行英語	3前		1								兼1	
		時事英語	3後		1								兼2	
初習(第二)外国語	中国語Ⅰ(初級)	1前		2								兼2		
	中国語Ⅱ(中級)	1後		2								兼2		
	韓国語Ⅰ(初級)	1前		2								兼1		
	韓国語Ⅱ(中級)	1後		2								兼1		
	ベトナム語Ⅰ(初級)	1前		2								兼1		
	ベトナム語Ⅱ(中級)	1後		2								兼1		
	ドイツ語Ⅰ(初級)	1前		2								兼1		
	ドイツ語Ⅱ(中級)	1後		2								兼1		
	フランス語Ⅰ(初級)	1前		2								兼1		
	フランス語Ⅱ(中級)	1後		2			1					兼1		
スペイン語Ⅰ(初級)	1前		2								兼2			
スペイン語Ⅱ(中級)	1後		2								兼2			

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手					
共通 教 育 科 目	外国語によるコミュニケーションの理解	日本語Ⅰa (文字と語彙)	1前		1			+						兼2	クラス当たりの適正人数の考慮等による担当者減(26)	
		日本語Ⅰb (文字と語彙)	1後		1			+						兼2		クラス当たりの適正人数の考慮等による担当者減(26)
		日本語Ⅱa (文章解釈の技法と文法)	1前		1			1								兼1
		日本語Ⅱb (文章解釈の技法と文法)	1後		1			1								兼1
		日本語Ⅲa (聴解とコミュニケーション)	1前		1											兼2
		日本語Ⅲb (聴解とコミュニケーション)	1後		1											兼2
		日本語Ⅳa (文章作成の技術)	1前		1											兼2
		日本語Ⅳb (文章作成の技術)	1後		1											兼2
		日本語Ⅴa (読書とリスニング・ラン)	1前		1											兼2
	日本語Ⅴb (読書とリスニング・ラン)	1後		1										兼2		
	国際理解基礎	現代の国際社会	1後		2			1								
		国際社会の法と人権	2後		2				1							
		世界の地理	1前・後		2										兼1	
		異文化コミュニケーション論	1後・2前		2										兼1	
	日本	日本思想	2前		2			1								
		日本の伝統文化	2前		2			2								
		日本の近現代史	2前		2				1							
		日本と世界の宗教	3前		2			1								
		日本と世界の今日的課題	3後		2										兼1	
	アジア	東アジアの民族と文化	2前		2						1					
		東アジアの歴史と社会	2後		2						1					
		東アジアの政治と経済	2後		2										兼1	
		東南アジアの民族と文化	2後		2						1					
		東南アジアの歴史と社会	3前		2						1					
	東南アジアの政治と経済	3後		2										兼1		
	欧米	アメリカの民族と文化	2後		2										兼1	
		アメリカの歴史と社会	3前		2										兼1	
アメリカの政治と経済		3後		2										兼1		
ヨーロッパの民族と文化		2前		2										兼1		
ヨーロッパの歴史と社会		2後		2										兼1		
ヨーロッパの政治と経済	2後		2										兼1			
海外体験	スタディアブロードⅠ	1・2・3・4		2			1									
	スタディアブロードⅡ	1・2・3・4		2			1									
	スタディアブロードⅢ	1・2・3・4		2			1									
キャリア形成	キャリアデザインⅠ (自己の探究)	1前		1				1						兼4		
	キャリアデザインⅡ (企業と仕事)	1後		1										兼4		
	キャリアデザインⅢ (社会生活の基礎)	2前		1										兼1		
	キャリアアップ基礎Ⅰ (数的処理)	2前・後		1										兼1		
	キャリアアップ基礎Ⅱ (言語)	2前・後		1										兼1		
	キャリアアップ基礎Ⅲ (ビジネスのマナーと文書)	2前・後		1										兼1		
	日本語表現Ⅰ (文章表現)	1前		1										兼5		
	日本語表現Ⅱ (口頭表現)	1後		1										兼5		
	ビジネスプレゼンテーション	2前・後		2						1						
	インターンシップⅠ	2・3		2						1						
インターンシップⅡ	2・3・4		2						1							
ボランティア論	1後・2前		2										兼1			
ボランティア活動	1・2・3・4		2				1									
ナレミ	フレッシュマンセミナー a	1前		1			9 8	5 5	2 2							
	フレッシュマンセミナー b	1後		1			9 8	5 5	2 2							
学部・学科科目	ビジネスの基礎理解	経営学入門	1前		2			1	+	2					職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)	
		経済学入門	1前		2				1	+	1				当初予定教員の就任辞退(26)	
		会計学入門	1後		2			2	+						当初予定教員の就任辞退(26)	
		マーケティング入門	1後		2			1							兼2	
		法学入門	1前		2			1							兼1	
	情報学入門	1後		2			1							兼1		
	ビジネスの総合理解	経営学原理	2前		2			1								
		起業家論	2後		2										兼1	
		経営管理論	2前		2						1					
		経営史	2前		2				1							
経営組織論		3前		2						1						
組織行動論	2後		2						1							
企業統治論	2後		2										兼1			
経営倫理	3前		2										兼1			
経営戦略論	3前		2			1										
経営分析	3前		2				1		+					職位変更(昇任) 講師⇒准教授(26)		



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学 部 ・ 学 科 科 目	ビ ジ ネ ス の 総 合 理 解	政 策 学 分 野	公共政策入門	2前	2		1					兼1  兼1
			社会調査法	2前	2		1					
			公共経営論	2前	2			1				
			地方行政論	2前	2			1				
			地域政策論	2後	2			1				
			地域経済論	2前	2				1			
			社会保障政策	3前	2							
			行政法	3前	2			1				
			地方自治法	3後	2							
			フィールド・リサーチ	3前	2			1	1			
	情 報 学 分 野	ITの基礎	2前	2			1					兼1  兼1
		情報デザイン論	2前	2			1	+			職位変更(昇任) 准教授⇒教授(26)	
		情報数学	2前	2				1				
		プログラミング演習	2前・後	2			1					
		コンピュータネットワーク	2前	2			1					
		モバイルアプリ開発演習	2後	2			1					
		先端情報技術	3前	2			1					
		Webデザイン入門	2前・後	2				1				
		Webプログラミング演習	2後	2			1					
		Webシステム開発演習	3前	2				1				
国 際 関 係 ・ 国 際 ビ ジ ネ ス の 理 解	日中ビジネス論	2後	2			1						当初予定教員の就任辞退による担当者の変更・後任未定(26)  当初予定教員の就任辞退による担当者の変更(26)  当初予定教員の就任辞退による担当者の変更(26)
	国際経営論	3前	2			1						
	国際会計論	3前	2			1						
	国際税務論	3後	2				+					
	国際経済論	3前	2			+		1				
	国際金融論	3後	2			+		1				
	国際取引法	3後	2			1						
	国際関係史	2前	2			1						
	国際政治学	2後	2			1						
	国際法	2後	2					1				
	国際ジェンダー論	2前	2					1				
	国際事情	3前	2			2						
	海外事情研修	1・2・3・4	2			1						
	セ ミ ナ ー	専門基礎セミナー a	2前	2			11	4 5	4 3			
専門基礎セミナー b		2後	2			11	4 5	4 3				
専門セミナー I a		3前	2			21 19	9 11	6				
専門セミナー I b		3後	2			21 19	9 11	6				
専門セミナー II a		4前	2			21 19	9 11	6				
専門セミナー II b (卒業研究を含む)		4後	2			21 19	9 11	6				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に受理された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
20科目	207科目	0科目	227科目	20科目	207科目	0科目	227科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0
---	---	---

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪国際大学短期大学 部と共用			
	校舎敷地	24,681.03㎡	9,943.88㎡	1,959.13㎡	36,584.04㎡				
	運動場用地	0㎡	56,826.15㎡	0㎡	56,826.15㎡				
	小 計	24,681.03㎡	66,770.03㎡	1,959.13㎡	93,410.19㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	24,681.03㎡	66,770.03㎡	1,959.13㎡	93,410.19㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪国際大学短期大学 部と共用				
	20,619.03㎡ (19,785.03㎡)	28,746.80㎡ (19,434.10㎡)	2,427.58㎡ (2,427.58㎡)	51,793.41㎡ (41,646.71㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大阪国際大学短期大学 部と共用			
	60室	2室	7室	15室 (補助職員 8人)	3室 (補助職員 2人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大阪国際大学短期大学 部と共用			
	グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科			40 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具・標本につ いては、大学全体(大 阪国際大学短期大学部 分含む)  外国語電子ジャーナルの増加 (26)	
		グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科	69,893 [20,874]	178 [91] <del>122 [30]</del> (178 [91]) <del>(122 [30])</del>	100[63] <del>44 [2]</del> (100[63]) <del>(44 [2])</del>	3,565	22,000		7
		(69,893 [20,874])			(3,565)	(22,000)	( 7)		
		計	69,893 [20,874] (69,893 [20,874])	178 [91] <del>122 [30]</del> (178 [91]) <del>(122 [30])</del>	100[63] <del>44 [2]</del> (100[63]) <del>(44 [2])</del>	3,565 (3,565)	22,000 (22,000)		7 ( 7)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		事務共用スペース等への変更 により面積等縮小(26)		
	2,860.00㎡ <del>3,642.00㎡</del>		533席 522席		208,000冊 <del>255,000冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,023.77㎡		プール 1面、テニスコート 4面、フィットネスクラブ 3室、トレーニングルーム 1室						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体(大阪国際大 学短期大学部分含む)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	333千円	333千円	図書購入費	7,500千円	7,500千円	7,500千円	
	共 同 研 究 費 等	8,000千円	8,000千円	設備購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	1年次は入学金280千円 含む	
		1,270千円	990千円	990千円	990千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		該当無し							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。





## 4 既設大学等の状況

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪国際大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科	4	300	—	300	学士 (経営学)	0.34	平成26年度	大阪府枚方市杉3丁目50番1号	
ビジネス学部 経営デザイン学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成20年度	同上	平成26年より学生募集停止
経済ファイナンス学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—	平成20年度	同上	平成26年より学生募集停止
現代社会学部 情報デザイン学科	4	—	—	—	学士 (社会情報学)	—	平成20年度	同上	平成26年より学生募集停止
法律政策学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	平成20年度	同上	平成26年より学生募集停止
人間科学部 心理コミュニケーション学科	4	120	3年次15	510	学士 (人間科学)	0.74	平成14年度	大阪府守口市藤田町6丁目21番57号	
人間健康科学科	4	100	3年次15	430	学士 (人間科学)	0.75	平成14年度	同上	
スポーツ行動学科	4	100	3年次15	430	学士 (人間科学)	0.96	平成14年度	同上	
国際コミュニケーション科学部 国際コミュニケーション学科	4	160	3年次15	670	学士 (国際コミュニケーション学)	0.70	平成19年度	同上	平成27年より学生募集停止
経営情報学部 経営情報学科	4	—	—	—	学士 (経営情報学)	—	昭和63年度	大阪府枚方市杉3丁目50番1号	平成20年より学生募集停止
法政経学部 法政経学科	4	—	—	—	学士 (社会科学) (政治学) (経済学) (法学)	—	平成4年度	同上	平成20年より学生募集停止
経営情報学研究科 経営情報学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (経営情報学)	0.50	平成5年度	大阪府枚方市杉3丁目50番1号	
経営情報学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (経営情報学)	0.33	平成7年度	同上	
総合社会科学研究科 法学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (法学)	—	平成10年度	同上	平成26年より学生募集停止
国際政経専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (政治学) (経済学)	—	平成10年度	同上	平成26年より学生募集停止
大学の名称	大阪国際大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児保育学科	2	180	—	360	短期大学士 (幼児教育学)	0.96	昭和51年度	大阪府守口市藤田町6丁目21番57号	
ライフデザイン総合学科	2	200	—	400	短期大学士 (栄養学) (総合人間学)	0.62	平成20年度	同上	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。



## 5 教員組織の状況

5 教員組織の状況

<グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	奥 林 康 司	平成26年4月	経営学原理 スタディアブロードⅠ スタディアブロードⅡ スタディアブロードⅢ ボランティア活動						
専	教授	市 川 直 樹	平成26年4月	会計学入門 財務管理論 予算管理論 ビジネスゲーム論 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	稲 泉 綾 二	平成26年4月	コンテンツビジネス論 情報産業論 デジタルコンテンツ エンターテイメントコンテンツ制作 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	植 松 康 祐	平成26年4月	統計学入門 コンピュータの活用Ⅱ (Excelによる統計処理) 情報と社会 経営科学 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	浦 上 準 之 助	平成26年4月	ヒトとコトバの世界 英語Ⅰ 英語Ⅱ 日本語Ⅰ a (文字と語彙) 日本語Ⅰ b (文字と語彙) 日本語Ⅱ a (文章解釈の技法と文法) 日本語Ⅱ b (文章解釈の技法と文法)						「日本語Ⅰ a」、「日本語Ⅰ b」については、適正人数を考慮し、クラス数を減じたため担当減(26)
専	教授	塩 谷 雅 弘	平成26年4月	金融論 マクロ経済学 計量経済学 国際経済論 国際金融論 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b	専	講師	十 河 丈 晴	平成26年4月	金融論 マクロ経済学 計量経済学 国際経済論 国際金融論 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b	平成25年9月 塩谷雅弘教授辞任のため、 平成26年4月より担当者の変更(26)
専	教授	岡 本 容 典	平成26年4月	コンピュータの活用Ⅲ (マルチメディア) コンピュータネットワーク モバイルアプリ開発演習 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	何 成 業	平成26年4月	人的資源管理 日中ビジネス論 国際経営論 国際事情 ※ 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古 殿 幸 雄	平成26年4月	経営戦略論 経営工学 経営情報論 海外事情研修 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	佐 藤 智 明	平成26年4月	健康とスポーツ 健康科学 日本の伝統文化 人間工学 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	瀬 島 誠	平成26年4月	現代の国際社会 国際関係史 国際政治学 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						「フレッシュマンセミナー a」、「フレッシュマンセミナー b」については、適正人数を考慮し、クラス数を減じたため担当減(26)
専	教授	高 橋 泰 代	平成26年4月	日本の伝統文化 会計学入門 簿記原理 財務会計論 NPO会計 国際会計論 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	谷 口 りり子	平成26年4月	I T の基礎 プログラミング演習 Webプログラミング演習 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	中 山 実 郎	平成26年4月	法学入門 民法総論 物権法 契約法 裁判手続法 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	韓 尚 秀	平成26年4月	コンピュータの活用IV (データベース) 生産管理論 ビジネスゲーム演習 国際事情 ※ 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	日 野 隆 生	平成26年4月	マーケティング入門 マーケティング論 販売管理論 流通科学 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	教授	福 田 真 規 夫	平成26年4月	情報と社会 情報学入門 ビジネスシステムのしくみ 先端情報技術 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	堀田 隆司	平成26年4月	フランス語Ⅱ(中級) 現代の世界経済 西洋経済史 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	堀 要	平成26年4月	ミクロ経済学 公共経済学 公共政策入門 フィールド・リサーチ 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	三木 英	平成26年4月	社会学 宗教学 日本思想 日本と世界の宗教 社会調査法 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	教授	吉田 夏彦	平成26年4月	商取引法 会社法 金融商品取引法 国際取引法 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	准教授	安達 康生	平成26年4月	コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用) コンピュータの活用Ⅱ (Excelによる統計処理) 情報の科学 キャリアデザインⅠ (自己の探究) 情報数学 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	准教授	安保 克也	平成26年4月	くらしの中の憲法 憲法 知的財産権 行政法 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	准教授	石川 高行	平成26年4月	情報の科学 ビジネスシステム論理デザイン ビジネスデータベース演習 Webデザイン入門 Webシステム開発演習 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b						
専	准教授	木村 吉孝	平成26年4月	経済学入門 会計学入門 財政学 税法 国際税務論 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b			後任未定			平成26年3月 木村吉孝准教授辞任(26) 「経済学入門」、「会計学入門」は他に担当教員が各2名いるため、また、「フレッシュマンセミナー a」、「フレッシュマンセミナー b」は適正人数を考慮しクラス数を減じたため、支障はない。(26) 担当未定科目については、後任教員の採用等、対応検討中(26)
専	准教授	下條 善史	平成26年4月	コンピュータの活用Ⅳ (データベース) 情報と社会 ビジネスデータベース論 情報デザイン論 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナーⅠ a 専門セミナーⅠ b 専門セミナーⅡ a 専門セミナーⅡ b		教 授				准教授⇒教授へ職位変更(26)



設置時の計画					変更状況					備 考	
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	外 島 健 嗣	平成26年4月	経済学入門 証券市場論 ファイナンシャル・プランニング 資金運用論 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b							
専	准教授	田 窪 美 葉	平成26年4月	経営学入門 ビジネスシステム設計演習 ビジネスゲーム演習 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b		教 授				准教授⇒教授へ職位変更(26)	
専	准教授	田 中 優	平成26年4月	公共経営論 地方行政論 地域政策論 フィールド・リサーチ 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b							
専	准教授	谷 口 真由美	平成26年4月	現代社会と女性 国際社会の法と人権 国際法 国際ジェンダー論 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b							
専	准教授	Stephen Hattingh	平成26年4月	オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II オーラルイングリッシュ III オーラルイングリッシュ IV リスニング I リスニング II ボキャブラリービルディング I ボキャブラリービルディング II フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b							
専	准教授	東 野 裕 人	平成26年4月	日本の近現代史 経営史 現代の日本経済 日本経済史 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b							
専	准教授	矢 島 彰	平成26年4月	数学の基礎 地球の科学 コンピュータ基礎演習 情報の科学 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b		教 授				准教授⇒教授へ職位変更(26)	
専	准教授	Colin G. Rogers	平成26年4月	オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II オーラルイングリッシュ III オーラルイングリッシュ IV オーラルイングリッシュ V オーラルイングリッシュ VI エッセンシャルグラマー I エッセンシャルグラマー II フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b							
専	講 師	安 高 真一郎	平成26年4月	経営分析 生産管理論 簿記実務 原価計算論 管理会計論 原価管理論 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b		准教授					講師⇒准教授へ職位変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	長谷川 良二	平成26年4月	経済学入門 計量経済学入門 環境経済学 地域経済論 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	講師	村井 康真	平成26年4月	インターンシップ I インターンシップ II 経営学入門 プロジェクト管理 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	講師	森友 令子	平成26年4月	ビジネスプレゼンテーション 広告デザイン論 広告デザイン演習 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	講師	山本 明志	平成26年4月	東アジアの民族と文化 東アジアの歴史と社会 東南アジアの民族と文化 東南アジアの歴史と社会 専門基礎セミナー a 専門基礎セミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
専	講師	李 超	平成26年4月	経営学入門 経営管理論 経営組織論 組織行動論 フレッシュマンセミナー a フレッシュマンセミナー b 専門セミナー I a 専門セミナー I b 専門セミナー II a 専門セミナー II b						
兼任	教授	石井 康夫	平成26年10月	マーケティング入門 企業統治論 経営倫理 市場調査論						
兼任	講師	石井 康夫	平成29年4月	マーケティング入門 企業統治論 経営倫理 市場調査論						
兼任	教授	井上 市郎	平成26年10月	マーケティング入門						
兼任	講師	井上 市郎	平成27年10月	マーケティング入門 ビジネスケーススタディ I Tマーケティング e-ビジネス論						
兼任	教授	奥 正嗣	平成26年4月	法学入門						
兼任	講師	奥 正嗣	平成27年4月	法学入門 地方自治法						
兼任	教授	柴 寄 雅子	平成28年4月	人間の生と死						
兼任	教授	下 野 辰久	平成27年4月	生活の中の化学						
兼任	教授	徳 永 由紀子	平成27年10月	アメリカの民族と文化						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	木村 真人	平成26年10月	心理学						
兼任	講師	村田 隆志	平成27年4月	日本の伝統文化						
兼任	講師	石川 康恵	平成26年4月	日本語Ⅴa (読書とリスニング・ラン) 日本語Ⅴb (読書とリスニング・ラン)						
兼任	講師	池宮 由紀	平成26年4月	日本語Ⅲa (聴解とコミュニケーション) 日本語Ⅲb (聴解とコミュニケーション)						
兼任	講師	今井 秀司	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究)	兼任	講師	高山 美枝	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究)	就任辞退により担当者を変更(26)
				キャリアデザインⅡ (企業と仕事) キャリアデザインⅢ (社会生活の基礎)						
兼任	講師	入江 寿大	平成27年10月	東アジアの政治と経済 東南アジアの政治と経済						
兼任	講師	岩田 慎太郎	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究) キャリアデザインⅡ (企業と仕事)						
兼任	講師	宇野 伸孝	平成27年10月	ゲーム理論 経済政策						
兼任	講師	Sven M. Ehrlich	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ(初級) ドイツ語Ⅱ(中級)						
兼任	講師	大畑 摂子	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	兼任	講師	枝 富喜夫	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	就任辞退により担当者を変更(26)
兼任	講師	大矢 吉之	平成28年10月	日本と世界の今日的課題 アメリカの政治と経済						
兼任	講師	岡上 路子	平成26年4月	中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)						
兼任	講師	岡尾 将秀	平成26年4月	日本語表現Ⅰ(文章表現) 日本語表現Ⅱ(口頭表現)						
兼任	講師	岡本 真奈	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	兼任	講師	藤居 大樹	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	就任辞退により担当者を変更(26)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小笠原 智子	平成26年4月	日本語Ⅱ a (文章解釈の技法と文法) 日本語Ⅱ b (文章解釈の技法と文法)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	長 田 靖 宏	平成26年10月	コンピュータの活用Ⅲ (マルチメディア) 情報学入門						
兼任	講師	小 田 淳 子	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	兼任	講師	辻 井 里 美	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)	就任辞退により担当者を変更(26)
兼任	講師	鎌 倉 祥 太 郎	平成26年4月	日本語表現Ⅰ (文章表現) 日本語表現Ⅱ (口頭表現)						
兼任	講師	亀 田 峻 宣	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究) キャリアデザインⅡ (企業と仕事)	兼任	講師	前 田 典 子	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究)	就任辞退により担当者を変更(26) 「キャリアデザインⅡ」は、適正人数を考 慮し、クラス数を減じたため担当減(26)
兼任	講師	川 上 聡	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ リスニングⅠ リスニングⅡ ライティングⅠ ライティングⅡ 旅行英語 時事英語						「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」は、適正人数を考 慮し、クラス数を減じたため担当減(26)
兼任	講師	川 崎 眞 理 子	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」は、適正人数を考 慮し、クラス数を減じたため担当減(26)
兼任	講師	木 村 陽 一	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究) キャリアデザインⅡ (企業と仕事)						「キャリアデザインⅠ」は、適正人数を考 慮し、クラス数を減じたため担当減(26)
兼任	講師	木 村 理 恵 子	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ リスニングⅠ リスニングⅡ						
兼任	講師	古 賀 大 樹	平成28年4月	経済法						
兼任	講師	小 林 美 津 子	平成26年4月	コンピュータ基礎演習						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	小 林 亮 子	平成27年4月	キャリアアップ基礎Ⅲ (ビジネスのマナーと文書)						
兼任	講師	齊 藤 薫	平成26年10月	ボランティア論						
兼任	講師	酒 井 隆 之	平成26年4月	日本語Ⅲ a (聴解とコミュニケーション) 日本語Ⅲ b (聴解とコミュニケーション)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	櫻井 喜久子	平成26年4月	日本語Ⅳ a (文章作成の技術) 日本語Ⅳ b (文章作成の技術)						
兼任	講師	佐々木 栄美子	平成26年4月	簿記原理 簿記実務	兼任	講師	吉田 育弘	平成26年4月	簿記原理 簿記実務	就任辞退により担当者を変更(26)
兼任	講師	佐藤 トイウヰ	平成26年4月	ベトナム語Ⅰ (初級) ベトナム語Ⅱ (中級)						
兼任	講師	品山 耕一	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究) キャリアデザインⅡ (企業と仕事)	兼任	講師	上羽 紗代	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究) キャリアデザインⅡ (企業と仕事)	就任辞退により担当者を変更(26)
兼任	講師	島本 英夫	平成26年4月	日本語Ⅲ a (聴解とコミュニケーション) 日本語Ⅲ b (聴解とコミュニケーション)						
兼任	講師	沈 玉均	平成26年4月	韓国語Ⅰ (初級) 韓国語Ⅱ (中級)						
兼任	講師	白石 真生	平成26年4月	日本語表現Ⅰ (文章表現) 日本語表現Ⅱ (口頭表現)						
兼任	講師	鈴木 常勝	平成27年4月	人権論						
兼任	講師	鈴木 三千代	平成26年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ エッセンシャルグラマーⅠ エッセンシャルグラマーⅡ ライティングⅠ ライティングⅡ 時事英語						
兼任	講師	高橋 真紀	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)						
兼任	講師	高山 佳奈子	平成27年10月	刑法						
兼任	講師	高山 美枝	平成27年4月	キャリアアップ基礎Ⅰ (数的処理) キャリアアップ基礎Ⅱ (言語)						
兼任	講師	田中 潔	平成26年4月	日本語Ⅴ a (読書とリスニング・ラン) 日本語Ⅴ b (読書とリスニング・ラン)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	津村 英二	平成26年4月	キャリアデザインⅠ (自己の探究) キャリアデザインⅡ (企業と仕事)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	鶴保 謙四郎	平成27年4月	人間と環境						
兼任	講師	Jonathan Davis	平成26年4月	オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ オーラルイングリッシュⅤ オーラルイングリッシュⅥ ボキャブラリービルディングⅠ ボキャブラリービルディングⅡ						
兼任	講師	中尾 泰史	平成26年4月	健康とスポーツ 健康科学						
兼任	講師	永岡 崇	平成26年4月	日本語表現Ⅰ(文章表現) 日本語表現Ⅱ(口頭表現)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	中嶋 園子	平成26年10月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	那波 理絵	平成26年4月	日本語Ⅰa(文字と語彙) 日本語Ⅰb(文字と語彙)						
兼任	講師	波江 彰彦	平成26年4月	世界の地理						
兼任	講師	新家 玲	平成26年4月	日本語Ⅴa (読書とリスニング・ラン) 日本語Ⅴb (読書とリスニング・ラン)						
兼任	講師	Raul Nivon	平成26年4月	スペイン語Ⅰ(初級) スペイン語Ⅱ(中級)	兼任	講師	西洞院 遥美	平成26年4月	スペイン語Ⅰ(初級) スペイン語Ⅱ(中級)	教育効果の観点から担当教員を追加 (26)
兼任	講師	西田 千裕	平成26年4月	健康とスポーツ 健康科学						「健康とスポーツ」は、適正人数を考慮 し、クラス数を減じたため担当減(26)
兼任	講師	能川 元一	平成26年4月	人間学						
兼任	講師	Jim Hudgens	平成26年4月	オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ オーラルイングリッシュⅤ オーラルイングリッシュⅥ ボキャブラリービルディングⅠ ボキャブラリービルディングⅡ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	晶山利一	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ エッセンシャルグラマーⅠ エッセンシャルグラマーⅡ						
兼任	講師	久恒悦子	平成26年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ エッセンシャルグラマーⅠ エッセンシャルグラマーⅡ						
兼任	講師	藤井功	平成28年4月	社会保障政策						
兼任	講師	藤田智博	平成26年4月	日本語表現Ⅰ(文章表現) 日本語表現Ⅱ(口頭表現)						
兼任	講師	藤村佳子	平成27年10月	起業家論						
兼任	講師	藤原健	平成26年4月	日本語Ⅰa(文字と語彙) 日本語Ⅰb(文字と語彙) 日本語Ⅱa (文章解釈の技法と文法) 日本語Ⅱb (文章解釈の技法と文法)						
兼任	講師	北條雅英	平成28年10月	労働法						
兼任	講師	前川京子	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	増田知也	平成28年10月	NPO論						
兼任	講師	松浦宏之	平成28年4月	アメリカの歴史と社会						
兼任	講師	松岡依文	平成26年4月	中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)						
兼任	講師	松田三智子	平成26年4月	日本語Ⅳa (文章作成の技術) 日本語Ⅳb (文章作成の技術)						
兼任	講師	松永順子	平成26年4月	コンピュータ基礎演習 コンピュータの活用Ⅰ (Excelの関数活用)						
兼任	講師	馬淵要至	平成26年4月	簿記原理 簿記実務	兼任	講師	吉田育弘	平成26年4月	簿記原理 簿記実務	就任辞退により担当者を変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	宮永千恵子	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	屋葺素子	平成26年4月	日本語表現Ⅰ(文章表現) 日本語表現Ⅱ(口頭表現)						
兼任	講師	山本正二	平成26年4月	フランス語Ⅰ(初級)	兼任	講師	岡村雅史	平成26年4月	フランス語Ⅰ(初級)	就任辞退により担当者を変更(26)
兼任	講師	山本勇次	平成26年10月	文化人類学 異文化コミュニケーション論						
兼任	講師	山本幸枝	平成26年4月	日本語Ⅳa (文章作成の技術) 日本語Ⅳb (文章作成の技術)						適正人数を考慮し、クラス数を減じたため 担当削除(26)
兼任	講師	James D. Russell	平成26年4月	オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ リスニングⅠ リスニングⅡ ボキャブラリービルディングⅠ ボキャブラリービルディングⅡ	兼任	講師	Mark Wilmot	平成26年4月	オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ	教育効果の観点から担当教員を追加 (26)
兼任	講師	鷺田陸朗	平成27年4月	ヨーロッパの民族と文化 ヨーロッパの歴史と社会 ヨーロッパの政治と経済						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。



(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
21	13	6	0	40	23	10	6	0	39	63歳	1名
(21)	(13)	(6)	(0)	(40)	[+2]	[Δ3]	[0]	[0]	[Δ1]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	塩谷雅弘	他大学に就任することとなり、就任辞退となった。(26)
2	准教授	木村吉孝	他大学に就任することとなり、就任辞退となった。(26)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1 後任教員を採用することとしたので、学生の履修等に影響はない。(26)
2 当初担当予定であった初年度開講科目については、複数の専任教員が担当する科目であるため、学生の履修等に影響はない。2年次以降の担当予定科目については、後任教員の採用あるいは他の専任教員担当により対応する。(26)
上記のとおり、学生の履修等に影響はないため、学生への周知については特に行っていない。(26)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年6月)	「該当なし」	「該当なし」	「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

## 7 その他全般的事項

<グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

- ※「大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部FD委員会規程」を添付（別紙①参照）
- 平成15年度から、併設短期大学を含めた全学的な組織として「FD協議会」を設置
- 平成17年から、自己点検運営委員会の下部組織として「FD専門委員会」（併設短期大学を含む）へ改組
- 平成19年7月24日から、FD活動の更なる推進のため、各種委員会と同様に、運営協議会の直轄組織として「FD委員会」（短期大学部を含む）へ改組、現在に至る。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- （平成25年度）
- 平成25年4月～平成26年3月  
「FD委員会」（構成員：委員長、大学委員（各学科選出）7名、短大委員（各学科選出）2名、職員1名の計11名）

#### c 委員会の審議事項等

- （平成25年度）
- 学生による「授業についてのアンケート」実施方法
  - ・教員による「授業自己点検報告書」の作成及び報告書に基づく学科単位での「意見交換会」の実施
  - ・「授業についてのアンケート結果」の学生への公開
- 授業公開の実施
- 授業自己点検報告書及び授業公開に基づく意見交換会の実施

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- （平成25年度）
- 学生による「授業についてのアンケート」
- 授業公開
- 意見交換会（後期授業アンケート結果を受けて平成26年5月に実施予定）
- 「授業向上マニュアル」の作成
- 外部講師による講演会

#### b 実施方法

- （平成25年度）
- 学生による「授業についてのアンケート」  
前期及び後期の授業期間中に、専任及び非常勤教員が各担当科目の中から実施
- 授業公開  
前期及び後期に、専任教員（非常勤教員は任意）による授業公開を実施
- 意見交換会  
平成25年度後期授業アンケート結果を踏まえて、専任教員が「授業自己点検報告書」を作成、これに基づき、学科単位で意見交換会を実施（平成26年5月に実施予定）
- 授業向上マニュアルの作成  
本学ポリシー及び中教審答申等を掲載するとともに、授業運営のガイドラインを作成
- 外部講師による講演会  
外部より講師を招き、講演会を実施

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
  - （平成25年度、教員の参加状況含む）
  - 学生による「授業についてのアンケート」
    - 前期（7/1～7/26）および後期（12/16～1/24）の授業期間中に、専任および非常勤教員が各担当科目の中から実施
  - 授業公開
    - 前期（6/10～7/5）および後期（11/25～12/20）の間で、授業公開を実施
  - 意見交換会
    - 25年度後期授業のアンケート結果を踏まえて、担当科目の内1科目について授業自己点検報告書を専任教員が作成平成26年5月の学科会議にて意見交換を実施予定。
  - 授業向上マニュアルの作成
    - 授業運営の留意点等を示したマニュアルを毎年度当初に全教職員を対象に開催される、全学連絡会にて説明・周知
  - 外部講師による講演会
    - ・平成25年9月25日に、大阪府教育センター首席指導主事天野誠氏を講師として招き「多様な生徒に対応する授業運営・指導について」をテーマに講演会を実施（グローバルビジネス学部参加者：専任教員40名）
  
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - F D委員会とは別に、本学運営協議会において「授業改善プロジェクト」が発足した学長が座長となり、副学長・事務局長等大学幹部のリーダーシップのもと個々の教員の授業改善に取り組む予定である。
  - 具体的には、
    - 従来の「授業についてのアンケート」に代えて、セミナーとそれ以外の科目に分けて新たなアンケートを実施
    - それを受けて、授業運営に優れた教員には学長表彰を行う
    - 課題があると考えられる教員には、「授業改善プロジェクト」構成員が授業見学を行い面談のうえ、研修や自己改善のためのフォローを行う
  
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実行時期
    - 前期（7/1～7/26）および後期（12/16～1/24）の授業期間中に、専任および非常勤教員が各担当科目の中から実施
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - 大学ホームページにて授業アンケートの結果を公開

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙②のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成11年4月：自己点検評価報告書を作成し、財団法人大学基準協会の維持会員に登録

平成17年4月：自己点検評価報告書を作成

平成23年5月：自己評価報告書を公表

平成24年1月：自己評価報告書を作成

b 公表方法

自己点検・評価報告書を刊行するとともに大学ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

平成29年度に日本高等教育評価機構の評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成26年 5月 末日までに )



## 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部 FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部に置くFD委員会（以下「委員会」という。）の運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

(構成)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 教員の中から学長が委嘱した者 若干名
- (2) 職員の中から学長が委嘱した者 若干名
- 2 委員会に委員長を置き、学長が任命した者をもって充てる。
- 3 委員長及び委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4 委員長又は委員に欠員が生じたときは、すみやかに補充するものとし、その任期は前任者の残任期間とする。

(委員の選任)

第3条 前条第1項第1号の委員の選任は、学部長又は短期大学部長が候補者を選定し、教授会の議を経て運営協議会の承認を得るものとする。

(会議)

第4条 委員会は、委員等が招集し、その議長となる。

- 2 委員がやむをえない理由で出席できない場合は、委員長の承認を得て、代理者を出席させるものとする。
- 3 委員長は、必要に応じ構成員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

(審議事項)

第5条 委員会は、教育活動水準の維持向上のため、次の各号について審議する。

- (1) 教育指導のあり方に関する事項
- (2) 教授方法の工夫・研究に関する事項
- (3) 教育環境の整備に関する事項
- (4) カリキュラムの編成に関する事項
- (5) その他、教育活動水準の維持向上に関する事項

(事前協議・報告)

第6条 委員会の審議事項のうち、委員長が必要と認める事項については、事前に副学長(学事担当)及び副学長(学務担当)と協議を行うものとする。

- 2 委員会の審議事項のうち、委員長が重要と認める事項については、学長及び運営協議会に報告するものとする。

(その他)

第7条 委員会の運営に関し、必要な事項については、委員会の意見を徴して学長が別に定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学務部学務課の担当とし、特に事業計画の実施については、学務部キャンパスセンターがこれを補佐する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、運営協議会の議を経なければならない。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成19年7月24日に施行され、平成23年3月30日に廃止された「FD委員会規程」を基に、再度制定するものである。

附 則

この規程は、平成26年1月28日から施行する。



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### I. グローバルビジネス学部設置の趣旨

大阪国際大学は、「世界に通じる心を持った国際ビジネスマンの育成」を目的に、昭和 63 年(1988 年) 4 月に大阪府枚方市に開学した。当初は経営情報学部の単科大学であったが、平成 4 年に政経学部(平成 12 年に法政経学部へ改称)を増設した。

その後の IT 社会の進展と急激なグローバル化への変革に対応するため、従来の学部を改組し、平成 20 年(2008 年)にはビジネス学部と現代社会学部に再編した。

平成 26 年 4 月にはそれら 2 学部を統合し、「グローバル社会にあって、国内外の様々な分野で中核として活躍できる国際人」の育成を目指して、新たに「グローバルビジネス学部」を設置することとした。

##### II. グローバルビジネス学部の目的

本学は、「全人教育」を建学の精神にしており、普遍的な倫理観を身につけ、国際的な視野を持ったグローバルな人材を育成することを目的としている。グローバルな視野を持ちながら、世界を舞台にビジネスの現場で活躍できる専門的職業人を育成することを目指している。

##### III. グローバルビジネス学部の目的の達成状況

上述の目的を達成するために設置計画として提出した教育課程を、着実に 4 月より実施するとともに、補完的な教育活動を行い、人材育成の効率を高めている。特徴的な状況は以下のとおりである。

#### (1) 英語能力の向上

グローバル人材の育成にとって、英語能力は不可欠な条件である。平成 26 年度に入学した学生の英語能力について、初年次のクラス分けに利用する英語のプレメント・テストの結果を見ると、学年の英語の平均点は、昨年よりも 5 点上昇しており、さらに、100 点満点中、90 点を超える高得点を出す学生も現れている。これは明らかに英語力の高い学生が入学したことを示すものであり、英語能力の向上が窺える。

#### (2) 海外への関心の高まり

初習(第二)外国語の受講状況を見ると、1 年次生の履修登録率が 78%に達している。昨年度は 29%であったことを考えると、外国語への関心が著しく高まっていることを示しており、中国語のみならず、スペイン語、韓国語、フランス語などへの履修者も多くなっている。卒業までに、留学や海外研修など全員 1 度は海外に出ることを条件にしており、海外研修やインターナショナル・インターンシップへの準備を始めている学生も出てきている。

### (3) 海外研修への関心の高まり

平成 25 年度には、グローバルビジネス学部での海外研修を意識し、それらの研修メニューを多く準備してきた。例えば、オランダの V V V フェンロ社におけるスポーツビジネスの研修、バリ島におけるホテルでの研修、シンガポールにおけるナンヤン・ポリテクニクへの研修とパナソニック・シンガポールへの研修などである。参加した学生の報告を聞くと、海外研修が学生にいかに大きな影響を与えているかが窺える。平成 26 年度はグローバルビジネス学部の学生がこれらの海外研修に参加する予定である。

### (4) 現場に密着した教育

本学はパナソニック株式会社と協定を結び、同社が社員向けに行っている研修を学生向けに改善した「パナソニック・リーダー研修」に学生を参加させている。平成 26 年 3 月に行った研修は、既存の学部を対象としたが、平成 26 年度に実施される研修にはグローバルビジネス学部の学生が参加する予定である。これら実務界の社内研修に学生も参加することにより、ビジネス界の現実を知ると同時に、実際の職場における仕事の厳しさと楽しさを先輩から肌を通じて教えて頂くことが出来る。学生が 1 か月の研修で大きく変わることを実感できた。

## IV. 総括評価・所見

平成 25 年度の経験も踏まえ、教育の実績を見ると、実践的な教育により、学生が大きく成長していることが解った。グローバルビジネス学部に入學した学生の数は定員より少なかった。しかしその学生の質は従来よりも向上している。同時に、教室から離れた多様な教育を実施することにより、学部の目指すグローバル人材の育成がより効果的に行われていることが明らかになった。次年度は、この方向性をさらに深め、学生数を拡大することにより、本学部の目的を達成することとしたい。

## V. 学生確保に向けて

平成 26 年度入試においては、104 名の入学者に留まり、定員充足率 0.34 倍と厳しい結果となった。最大の原因としては、受験生に教育内容や出口（就職）イメージを十分に伝えきれていなかったことではないかと分析しており、この結果を深刻に受け止め、これまでの高等学校訪問に加え、学部の特徴・特色をオープンキャンパスや入試相談会等において強くアピールしていくとともに、募集体制の強化・見直しなどに取組み、受験生の確保に繋げていきたいと考えている。

なお、平成 27 年度入学生から、4 年間の学習の場を、通学の利便性が高く、他学部と連携した教育活動を行う上で有効な守口キャンパスに移し、学生募集を行うこととしている。